



アシスネットサービス配線事例写真 (付録：Unabell測定位置について)



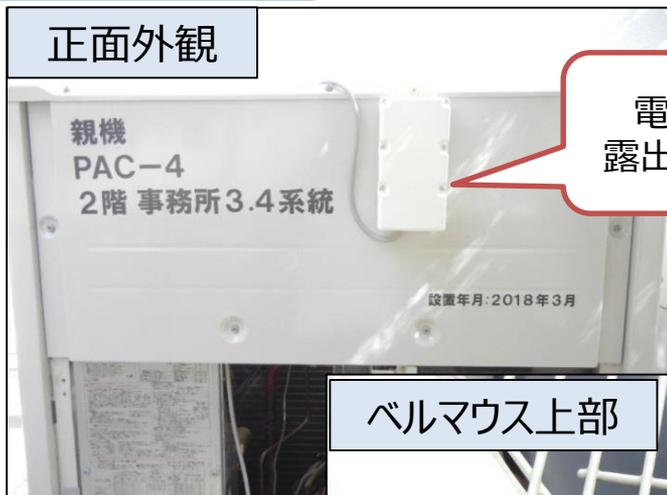
**ASSISNET
SERVICE**

ベルマウスの間隙から配線できる機器

本ケーシングの場合は、上部のベルマウス横から配線を取り出すことが可能です。
電気品箱の手前で配線トラップを設けて水が電気品箱に侵入しないようにしてください。
また、各部配線を固定して配線を固定してください。

例：RXMP335DA

正面外観



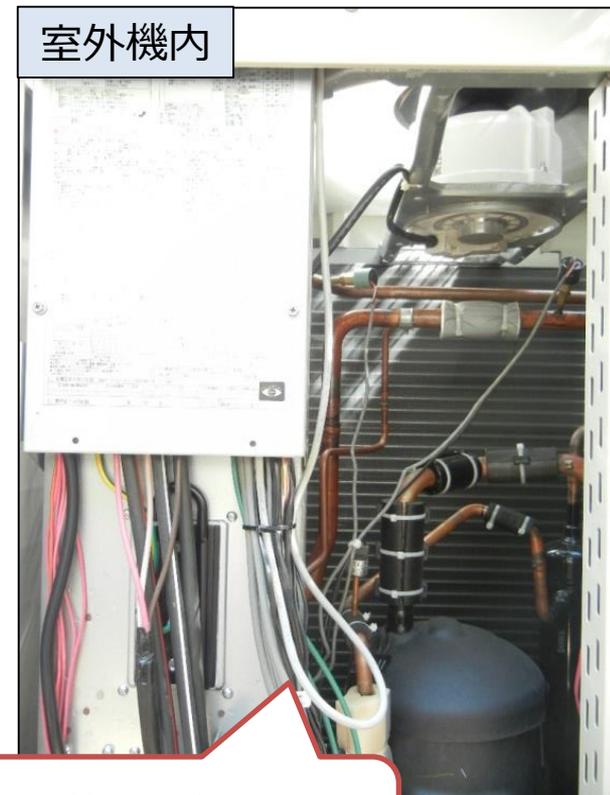
電波の良い上部に取り付け。
露出を少なくすることが可能です。

ベルマウス上部



本機械は、ベルマウス周りに
配線を通す隙間があります。

室外機内



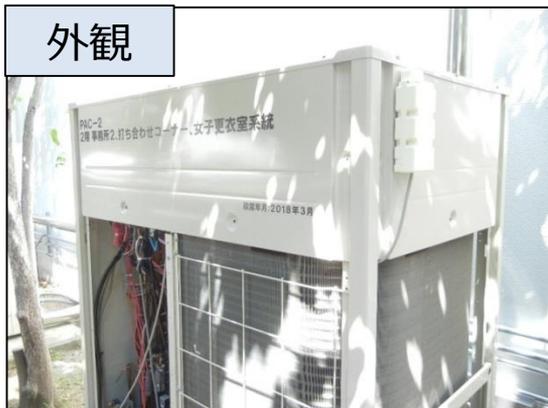
電気品箱に水が混入しない
ようトラップを設けてください。

熱交換器横の隙間から配線できる機器

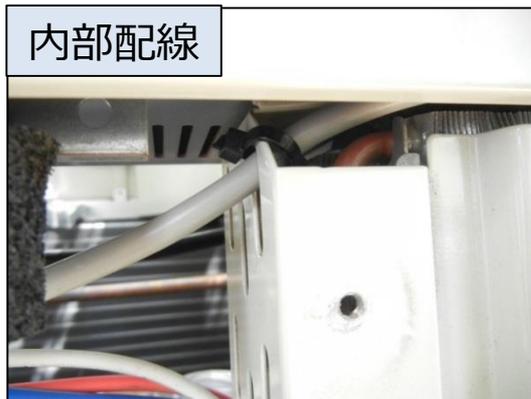
本ケーシングの場合は、右側面から配線を取り出すことが可能です。
電気品箱を出て上部前板と熱交との間を通して右側面に出せば露出する配線を短くすることができます。

例：RXUP335DA

外観



内部配線

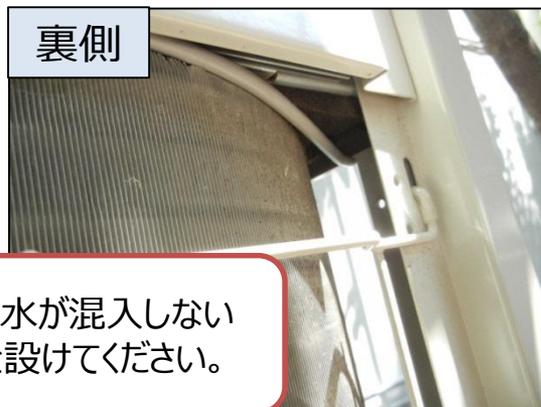


内部配線

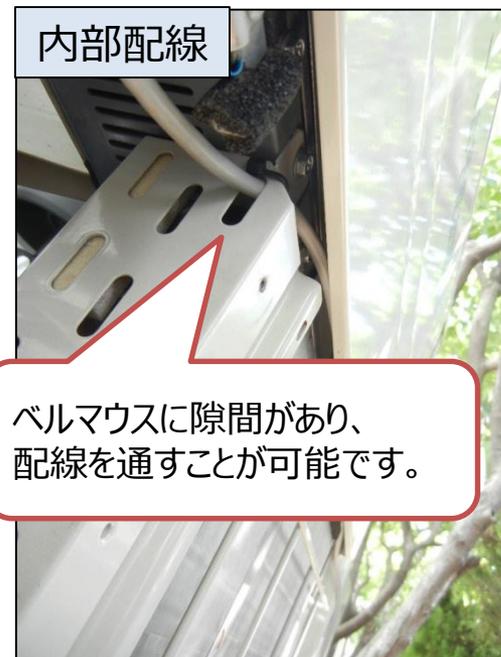


電気品箱に水が混入しないようトラップを設けてください。

裏側



内部配線



ベルマウスに隙間があり、配線を通すことが可能です。

室外機外板側面の隙間から配線できる機器

本ケーシングの場合は、右側面から配線を取り出すことが可能です。
電気品箱を出て熱交脇の穴を通して右側面に出せば露出する配線を短くすることができます。

例：RXYP280A



配線を正規取り出しから取り出す機器

製品下部以外から配線を取り出すことが不可能です。

通信ユニットを下部に設置しても通信が問題なく行える場合は写真（左）のような位置に設置すれば露出する配線を短くすることができます。

ラッキング等で配管・配線取出し穴を利用できず、新たにノック穴をあける必要がある場合は、必ずお客様から了承を得てください。

例：RZZP280G



例：RZRP40BBT



測定および取付位置

Unabellは縦向きで使用の事。（押しボタンは下の位置）

A or B の位置で電波測定OKであればその位置にアシスネット（通信ユニット）取付。

C の位置はunabell横使用のため結果は無効。また縦使用で電波OKでも取付けできない位置のため。電波測定不可。

Unabellの電波測定方法

①通信ユニット取付想定位置で測定。

電波に問題なければその位置に通信ユニットを取付。

②Unabellは室外機から離さず、くっつけて測定。

押しボタンを押しLED点滅が速くなっていき、点灯後消灯し終了。

（点滅の間はそのまま固定）

③縦向きに測定。（通信ユニット内アンテナの方向と合わせるため）

④取付想定位置から離れた場所での測定結果は意味がない。

